

デジタル一眼レフによる 夜の撮影入門

ーヒメボタル、星景、夜景を撮ろうー

町明かりをさけてふと見上げた夜空に輝く星。暗闇の中、懸命に光を放つヒメボタル。一瞬の美しさは、一瞬であるからこそ美しいのかもしれません。でも、もしその輝きを写真に残すことができれば・・・。

金生山ヒメボタル観察会に合わせて、初心者対象の講座「デジタル一眼レフによる夜の撮影入門」を開催します。あくまでも初心者対象ですから、「こんなことを聞いては・・・」とか、「こんな初歩的なことを質問するのはどうも・・・」などのご心配は無用です。

講座では金生山から撮影した星景写真などを紹介し、夜の撮影の仕方の基本を学びます。講座の後には金生山のヒメボタルを観察し、カメラをお持ちの方は実際に撮影することもできます。

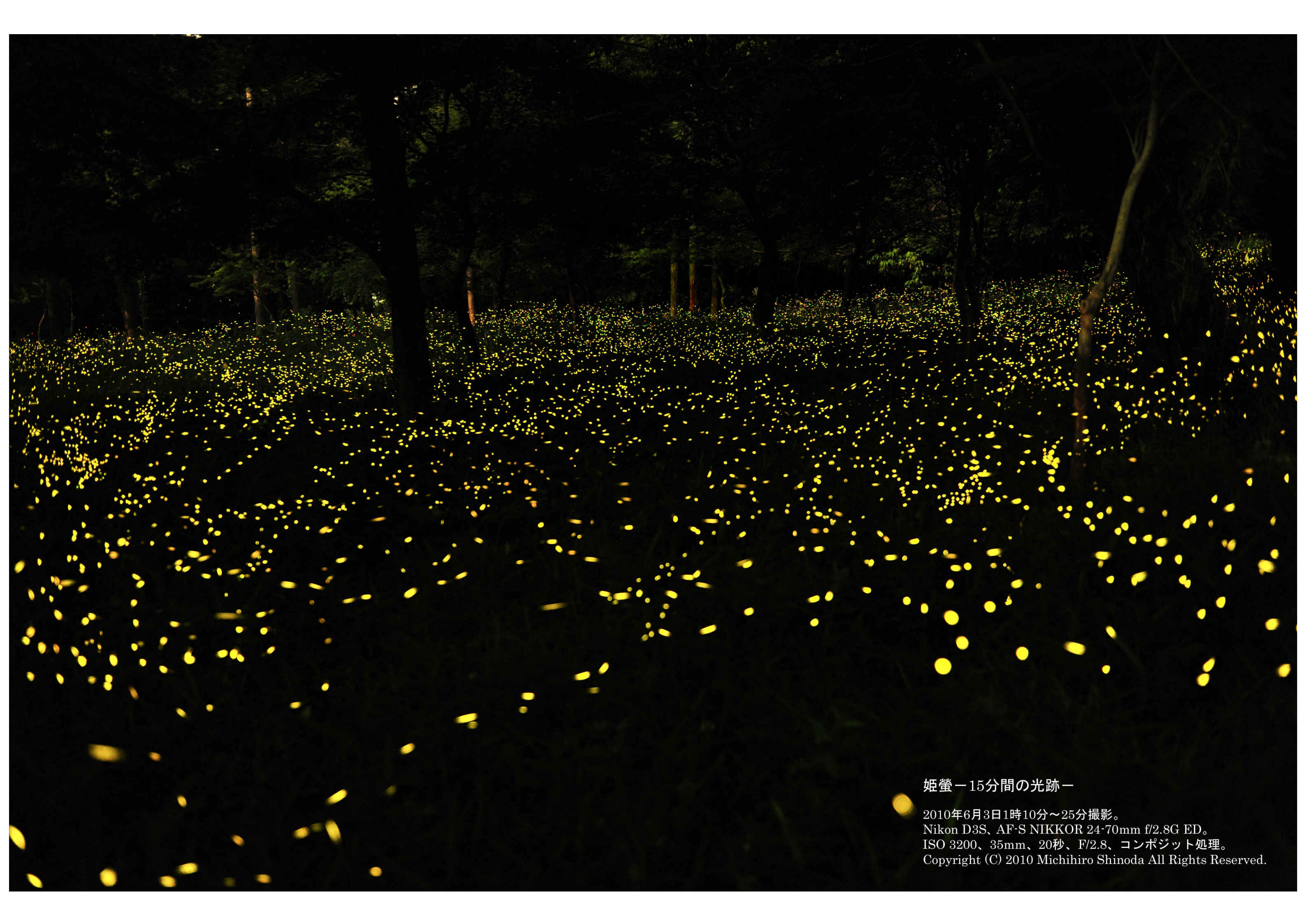
カメラをお持ちの方も、お持ちでない方も、金生山のヒメボタルとの出会いをお楽しみ下さい。

日 時 2011年6月4日(土) 午後10時
場 所 大垣市赤坂 金生山明星輪寺
参加費 無料
要 項 このPDFファイルの最後のページをご覧ください
講 師 篠田通弘 (<http://miharu.pro.tok2.com>)
事務局 明星輪寺 (0584-71-0124)
(<http://www.mirai.ne.jp/~kinsyou3>)

※観察会以外は夜間の立ち入りは禁止されています



主催 金生山自然文化苑保存会



姫螢－15分間の光跡－

2010年6月3日1時10分～25分撮影。
Nikon D3S、AF-S NIKKOR 24-70mm f/2.8G ED。
ISO 3200、35mm、20秒、F/2.8、コンポジット処理。
Copyright (C) 2010 Michihiro Shinoda All Rights Reserved.



「デジタル一眼レフによる夜の撮影入門」

の

ご案内

夜間の立ち入りが禁止されている金生山明星輪寺境内地ですが、大垣市天然記念物ヒメボタルの時期に合わせて6/4、11の両日に観察会を催します。6/4の第1回観察会では初心者対象の講座「夜の撮影入門」を開催します。デジタル一眼レフカメラで撮影したヒメボタル、星景、夜景写真などを紹介し、誰でも失敗しない撮影の仕方を学びます。天候がよければ、講座の後、実際にヒメボタルの撮影をすることができます。もちろんカメラのない方も、どなたでも参加できます。参加費は無料、事前申し込みも不要です。講師は「金生山明星輪寺の四季」をテーマに撮影を続ける篠田通弘氏です。

ヒメボタルは深夜に光ります。そのため開催は夜10時からとなっています。ご了承ください。

-----参加ご希望の方は、次の注意をよくお読みください-----

○持ち物(撮影を希望される方)

- 1、カメラ（デジタル一眼レフカメラ、またはレンズ交換式カメラが望ましいが、コンパクトデジタルカメラでも可。ただし、高感度撮影、長時間露光撮影が可能なもの。）。
- 2、三脚(必須)。
- 3、あればケーブルリリース、または赤外線リモコンなど。または、レンズを覆う黒い布、黒い帽子なども利用できる。

○持ち物（参加者共通）

- 1、ペンライト（光量の小さなもの。ヒメボタルは強い光が当たると、発光を停止してしまいます。大光量の懐中電灯や大光量のヘッドランプは不可。小光量のペンライトや小光量のLEDライトが最もよい。ペンライトの先に赤いセロファン紙をかぶせるか、油性マジックで発光部分を赤く塗りつぶしたものがベスト。）。

○持ってきてはいけないもの（参加者共通）

- 1、蚊取り線香、虫除けスプレー（ヒメボタルは生きています。）

○撮影希望の初心者の方へ（事前にご自分のカメラについて、次の点についてよく調べておいて、ご自分で操作できるようにしておいてください）。

- 1、マニュアル撮影の仕方（シャッタースピード、絞りをマニュアルに変更する仕方。オートフォーカスを解除し、マニュアルフォーカスとする仕方。）。
- 2、ISO感度の変更の仕方。
- 3、長時間露光の仕方。
- 4、ノイズリダクションのON、OFFの仕方。
- 5、スピードライト（フラッシュ）の発光禁止の仕方。

-----ご注意ください-----

6/4は写真教室の後、ヒメボタル観察・撮影を行います。車のライトを避けるため、午前1時30分までは車の通行はご遠慮下さい。車でお越しいただくことは可能ですが、午前1時30分より前にお帰りの方は、恐れ入りますが下に車を止めてご来山ください。